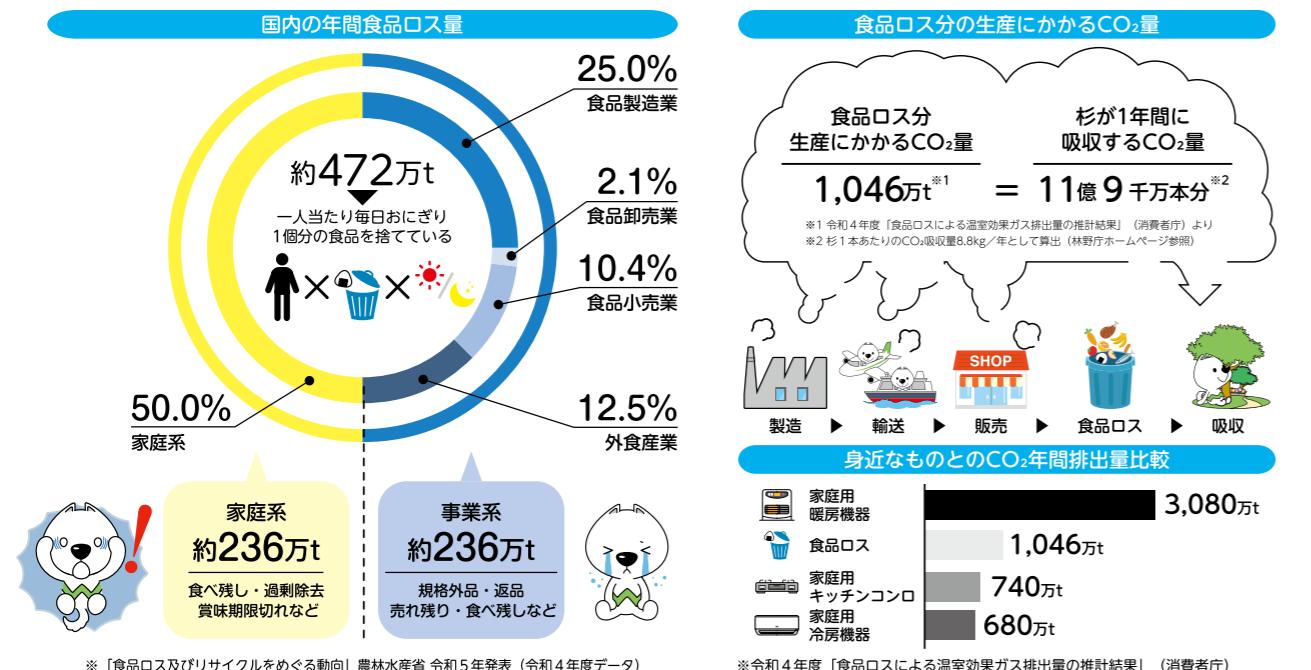


コラム 「食品ロス」の量について二酸化炭素排出量で考えてみよう。

みなさん、「食品ロス」という言葉を知っていますか。「食品ロス」とは、本来食べることができるように、捨てられてしまう食品のことを言います。食品ロスはもったいないだけでなく、製造や輸送、処分時に空気中に余分な二酸化炭素 (CO_2) を出し、環境にも悪い影響を与えます。

日本では年間約 472 万 t (トン) (令和 4 年度推計値) の「食品ロス」が発生しています。そして国民一人当たりの 1 年間の「食品ロス」の量は約 38kg になりますが、これは国民一人が、おにぎりを一日 1 個を捨てているのとほぼ同じ量になります。

またこの「食品ロス」分を生産するために、製造や輸送、販売などの過程で出た二酸化炭素の量を合わせると、約 1,046 万 t になります。これは、日本全体の家庭で使われるキッチンコンロから出る二酸化炭素の量より多い量です。またこの量は、杉の木 11 億 9 千万本分が 1 年間に吸収する二酸化炭素の量と同じという計算になります。脱炭素チャレンジシートにのっているエコ活動では、どのくらい二酸化炭素の出る量が減らせるでしょうか。「食品ロス」での二酸化炭素の出る量も参考にしながら考えてみてください。



参考文献

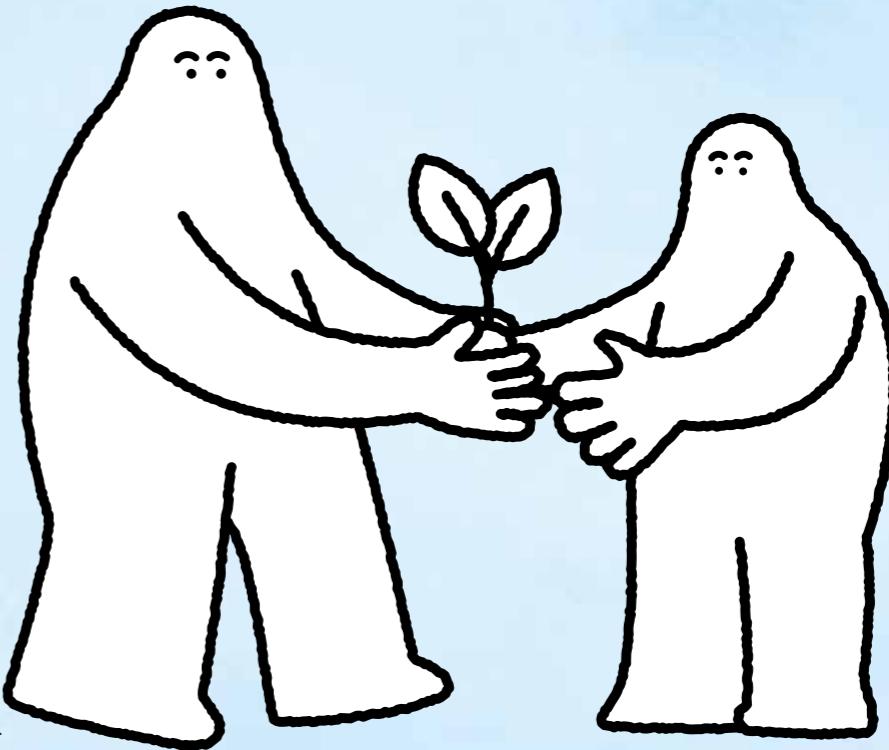
- 文部科学省 気象庁「日本の気候変動2025 –大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書–」
<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/index.html>
- 和歌山県ホームページ 脱炭素政策課「和歌山県気候変動適応センター」
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/d00217803.html>
- 農林水産省「食品ロス」とは
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/161227_4.html
- 環境省 ecojinエコジン「もったいない」だけじゃない食品ロスと環境問題
<https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/feature1/20241030.html>



リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

わかやま

だつたんそ 脱炭素チャレンジシート



和歌山県環境ポータルサイト
イメージキャラクター「だつたん」

はじめに

「地球温暖化」という言葉を知っていますか。人間の活動によって、空気中の二酸化炭素など温室効果ガスの濃度が高くなり、地球の気温が上がることを言います。人間の活動とは、物を作るために石炭や石油など(化石燃料)を燃やす、森林伐採(森林などの植物は、二酸化炭素を吸収するしくみがあります。)などが挙げられます。

では、地球の気温が上がっていくと、私たちの身の回りでは、どういったことが起こると思しますか。例えば、県の特産物である梅やみかんの生育や品質が悪くなるなど農作物への影響が出てきます。他にも大雨の降る日が多くなる、熱中症患者が増えるなど、身近なところでも様々な影響が出てくると予想されています。

こうした地球温暖化の影響は、和歌山県、日本だけでなく世界中に及ぶため、世界各地で、二酸化炭素の出る量を減らすための取組が行われています。

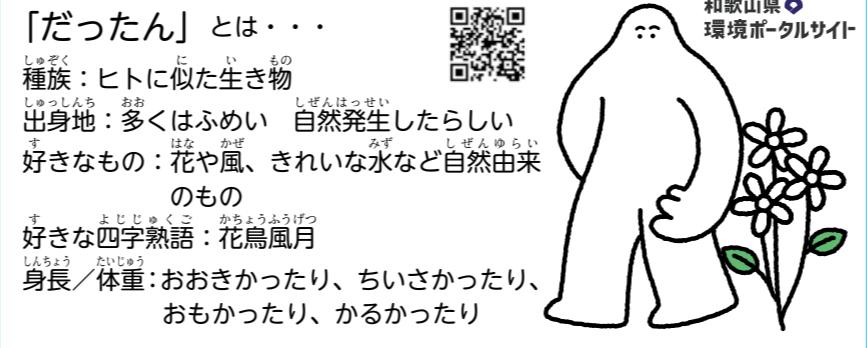
私たちも、普段の生活の中で、意識はしないものの二酸化炭素を出していることから、この量を減らすよう努力することが求められています。

ぜひ、この「脱炭素チャレンジシート」の裏面に書いている取組を普段の生活の中で意識して行動してみてください。



2050年
カーボンニュートラルわかやま

わかやま

だつたんそ
脱炭素チャレンジシートどのくらい二酸化炭素(CO₂)
を減らせるかな?

ねん組番名前

<やり方>

- 表にかいてあるエコ活動に取り組もう!
- 今日できたエコ活動の取組のマスに色を塗ろう!
- エコ活動の取組が7日間終わって、まだ頑張れそうな場合は、さらに7日間続けよう。
- 最後に、エコ活動の取組で減らした二酸化炭素の量を計算しよう。

かつどうとりくみ エコ活動の取組	①	1日目	2	3	4	5	6	7日目	8	9	10	11	12	13	14日目	②	①×②	びこう 備考
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
		まずは、7日間頑張ってみよう!							さらに7日間頑張ってみよう!									
1. テレビを見る時間を減らした。	18															/252	テレビを見る時間を1日3時間から2時間に短縮した場合	
2. 家で照明を使う時間を減らした。	4															/56	家庭で照明(7.5W LED電球ランプ)を使用する時間を5時間から4時間に短縮した場合	
3. 入浴の際に、シャワーで使用する水をこまめに止めた。	95															/1,330	シャワーを使用する時間を8分間から7分間に短縮した場合	
4. 手洗いの水をこまめに止めた。	2															/28	手洗いをする1分間のうち、手を洗う30秒は水を止めた場合	
5. まとめて洗濯することで、洗濯の回数を減らした。	65															/910	3kgの洗濯物を2回から1回にまとめて行う場合	
6. 袋に入っていない野菜を買って食べた。	16															/224	包装されていない人参を買って食べた場合	
7. ペットボトルを使わずに、マイボトルを利用した。	105															/1,470	ペットボトル500mlを購入する代わりにマイボトル(ステンレス製)を100回使用した場合の1回分	
8. 買い物は、レジ袋を使わずにマイバッグを持って行った。	23															/322	レジ袋を使用する代わりにマイバッグ50回使用した場合の1回分	
9. 旬の野菜や果物を食べた。	102															/1,428	トマト100gを冬春トマト(施設栽培)から夏秋トマト(露地栽培)に変更した場合	
10. 食べ残しをせずに食べた。	10															/140	家庭において1人あたり1日の食べ残し量が0.02kgの場合	
11. 冷暖房の設定温度を控えめにした。(室温の目安28°C、暖房の目安20°C)	244															/3,416	冷暖房の設定温度を1°C緩和し、6時間使用した場合	
12. 歩ける距離の移動は、自動車を使わずに歩いた。	476															/6,664	2kmの移動距離の場合	
13. 宅配便を1回目で受け取った。	180															/2,520	個人向けの宅配便1個を1回目で受け取る場合	
ごうけい 合計																減らした二酸化炭素の量は、どのくらいになったかな?		
/18,760																○○		

使用している数値はすべて目安です。

参考:環境省ホームページ デコ活データベース
https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/decokatsu_db/